

前日光の山岳古道を歩く
 禅頂行者道

実施日 2015年5月10日(日)
 天候 晴
 リーダー 一柳 昭
 S L 瀧澤きよの
 参加者 若村貴世子、若村勝昭、服部美千代、一柳昭、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、小村井好枝、石附智江、伊藤久雄、瀧澤きよの、石附恵理子、渡辺悦子 計13名
 費用 浅草駅→東武日光 1,358円
 新鹿沼駅→東武浅草駅 1,193円
 東武日光→細尾峠(🚗@1,220円) 古峰ヶ原神社BS→新鹿沼(🚗400円) 合計 4,171円
 タイム 東武日光駅(9:22~9:40🚗)細尾峠(10:07~10:15)薬師岳(11:00~11:08)三ツ目(12:28~12:35)夕日岳(12:53~13:30)三ツ目(13:48)地藏岳(14:02~14:07)ハガタテ平(14:32~14:40)古峰ヶ原神社BS(16:15~17:15🚗)新鹿沼駅(18:02~18:22)

禅頂行者道(ぜんちょうぎょうじゃみち)は、日光開山の祖の勝道上人(しょうどうじょうにん)が天平末期から平安初期にかけて古峰ヶ原(こぶがはら)を拠点に日光山(男体山)を開山するに至った道筋であり、その後山岳修験の行者達が行き交った山岳古道である。

禅頂行者道を歩くという主旨からだといふ古峰ヶ原から明智平のコースをとりたいが歩行時間、標高差から見るとハードすぎるし、また逆の明智平から古峰ヶ原のコースも同様である。今回は大人数で日帰山行を条件に細尾峠(禅頂行者道と旧国道112号線の交差点で旧国道の1192m最高点である。この道は足尾銅山の物流経路であったが足尾銅山の閉山とともに廃れてしまった)までタクシーで行き、ここから古峰ヶ原に出るコースを計画をした。過去に3回歩いているがいつも自分達のグループしか歩いておらず静かな山行であったが今回は随分沢山の人達と出会った。今はインターネットでかなり紹介されるようになったおかげかも知れない。

細尾峠からは緩やかな登りで新緑やツツジの中をゆっくりと進む。20分ほど

進むと分岐があり右側の従来のコースはクマザサに覆われて足下がよく見えなないので、現在左側の直登がスリッパの差があまりない。



りは歩きやすい。30分ほどで薬師岳に着く。「薬師岳」同一の山名は全国に多いが薬師如来の山岳信仰が各地にあったからだろう。山頂の標高は1420m、男体山、大真名子山、女峰山などの日光連山の眺めが良い。元の道に戻り三ツ目までは展望の効かない長い尾根歩きでいくつかのアップダウンを乗り越えて行く。



1526mの夕日岳は主稜線から外れて三ツ目の東側にあり往復する。夕日岳の山頂は人で一杯だったが入れ替わりに場所を空けてくれたのでゆっくり昼食を取ることができた。目の前に見える雪の残っている日光白根山、男体山、大真名子山、女峰山などの日光連山は素晴らしかった。三ツ目に戻り最後のピークの地藏岳は唐松が沢山あるが展望は悪い。

地藏岳からは急傾斜の山腹をジグザグに急降下する。ハガタテ平から左に折れ沢筋の樹林帯を下り砂利道の林道へと変わるがこれが長くうんざりする。林道のゲートを超えると舗装された車道に出て少時行くバス停に着く。1時間ほど時間があるので1300年の歴史を持つ古峯神社を参拝した後、近くの茶店で鹿沼名物のこんにゃくをつまみにビールで乾杯した。古峰ヶ原神社バス停(なぜかバス停は古峰ヶ原神社となっている)からのバスは珍しくほぼ満席に近かった。



(記・一柳 昭)
 (写真提供・涌井良明)



